Ⅰ．　建物・客室の現状について

1．建物について、各々の設問に対して該当するもの１つに○、もしくは数値を記入して下さい。

（1）建物構造　a. 木造　　b. 鉄筋コンクリート造　　c.鉄骨造　　d. その他（　　）e. 不明

（2）建築年　　a. 大正８年以前　　b. 大正 9～昭和 25 年　　c. 昭和 26 年～昭和 55 年

d. 昭和 56 年～　　e.平成（　　）年　　f. 不明

（3）事業開始に伴う増改築　　a. あり　　b.なし

⇒a.ありと回答：改変した箇所と内容について記入して下さい。

（4）建て方　　a. 一戸建て（独立型）　b.長屋（連棟型）　c. 集合（積層型）　d. その他（　　）

（5）建物の階数　（a.　　）階建ての（b.　　）階部分

（積層型の場合、b.も回答下さい。　b.は室のある階すべて記入してください）

（6）京町家か否か　　a. 京町家　　b. 京町家ではない　　c. わからない

（7）簡易宿所として許可申請する直前の、建物の用途は何でしたか。

a. 簡易宿所を営むために新築した　　b. 住宅　　c. 保養所　　d. 寄宿舎

e. 簡易宿所を含む旅館業　　f. その他の事業所（　　）　g. 不明

（8）建物がある地区の用途地域

a. 商業・近隣商業　　b. 準工業　　c. 住居／準住居　　d. その他（　　）　e. 不明

（9）総客室の延べ床面積　（　　）㎡　*客室に付属する浴室、便所、洗面所、板間、踏込等含むが、床の間、押入れ、共通の廊下及びこれに類する場所は除く。共用トイレ/浴室/共用空間は除く。

（10）総定員数　（　　）人

2．　下表の客室タイプ、和洋室の別と数、最小の客室面積と定員数、寝台タイプを回答して下さい。

客室タイプ 当該宿泊施設の客室タイプ ア～エの該当するものに○。 ア．イのみ２つ選択可能。 ウ.は一棟貸しのみの場合のみ。	和洋室の別と数 左で選択した客室タイプの室数を和洋室別に記入。		最小の客室面積とその部屋の定員数 数字を記入。共用浴室／トイレの面積は除外。付属分は含む。	寝台タイプ あるものすべてに○ *階層式寝台は二段式ベッド含む
ア．　ドミトリー （複数組の客が１客室を共有）	和室	室	㎡	a.布団　b. ベッド
	洋室	室	人	c. 階層式寝台
イ．　個室 （1組の客が１客室を利用）	和室	室	㎡	a.布団　b. ベッド
	洋室	室	人	c. 階層式寝台
ウ．　一棟貸しのみ （１組の客に棟ごと貸す）	和室	室	㎡	a.布団　b. ベッド
	洋室	室	人	c. 階層式寝台

→ア.もしくはイ.を選択した方：一棟貸しにも対応しているか　　a. している　　b.していない

Ⅱ．管理について

1．当該宿泊施設の開業年月　　昭和・平成＿＿年＿＿月　／　もしくは西暦＿＿＿年＿＿月

2. 建物・部屋の所有関係について、該当するもの１つに○。

a. 事業者が建物･部屋を所有　　b. 事業者が建物･部屋を賃貸　　c. その他（　　）

3. 玄関帳場・フロントの設置について、該当するもの１つに○。　a. 設置している　b. 設置していない

⇒b. を選択した場合、以下の対応をとっていますか。該当するものすべてに○。

a. ビデオカメラの設置　　b. 管理事務室直通電話の設置　　c. 管理事務室の所在地・連絡先の表示

d. 宿泊客による出入口の施錠・開錠ができる鍵の設置　　e. 宿泊客の本人確認

⇒e. を選択した場合、本人確認の方法について該当するものすべてに○。

ア．テレビ電話など電子端末の映像による確認　イ．周辺宿泊施設に作業代行を依頼しての確認

ウ．事業者が宿泊施設に赴き対面での確認　　エ．その他（　　）

4. 看板・表札等により宿泊施設であることを周辺に表示しているか。該当するもの１つに○。

a. している　　b.していない

⇒a.を選択した場合、表示の場所と形式について該当するものすべてに○。

形式については○と回答したものに、記載されている内容について、該当するものすべてに○。

表示場所:　a. 建物入口（玄関）　b. 敷地境界　　c. 路上　　d.その他（　　）

表示形式:　a. 表札／看板　　b. のれん　　c. ちらし

表示物の記載内容:　a. 施設名　b.代表者名　　c.連絡先　　d.その他（　　）

5. 経営の方法：該当するもの１つに○。b.と回答した場合、雇用スタッフ数について記載して下さい。

*自営は個人・法人を問わず、旅館業法の営業許可を受けた事業者が直接運営（経営）している場合を指します。

a. 自営＋雇用スタッフ無　　b. 自営＋雇用スタッフ有⇒雇用スタッフの人数　（　　）人

c. 自営＋一部委託　　d. 別の事業者／会社に委託　　e. その他（　　）

6. 当該宿泊施設における対面での日常的な顧客対応について該当するものすべてに○。

a. 事業者が自ら当該施設に居住して対応

b. 事業者が当該施設に通って対応

c. 事業者の雇用スタッフが当該施設に滞在もしくは居住して対応

d. 別の事業者に委託（委託事業者もしくはその雇用スタッフが当該施設に滞在もしくは居住して対応）

e. 当該施設に管理する者はいない

f. その他（　　）

⇒ a.~d. を選択した場合、スタッフの駐在体制について　ｱ. 常駐　ｲ.時間限定　ｳ.わからない

⇒イ.の場合（駐在時間：午前・午後　　：　　～午前・午後　　：　　）

7. 客層：各設問に対して、年間を通じてもっとも多いと思うもの１つに○。男女比のみ数字を記入。

（1）国籍　　a.国内　　b.アジア　　c.その他（　　）

（2）年齢層　　a.10～20 代　　b.30～40 代　　c.50～60 代　　d.70 代～

（3）構成　　a. 単身　　b. 2 人組　　c. 3 人以上のグループもしくはファミリー

（4）男女比率　　男性（　　）割　　女性（　　）割

8. 過去１年（1 年未満の場合これまで）の平均稼働状況　a. 8 割以上　b. 7～6 割程度　c. 5～4 割程度　d. 3 割以下

9. 当該宿泊施設内での喫煙の可否　　a. 全面禁煙　b. 一部喫煙可（喫煙室・室外喫煙所）　c. 喫煙可

10. 当該宿泊施設内の案内表示の言語　a. 日本語　b. 英語　c. 中国語　d. 韓国語　e.その他（　　）

Ⅲ．衛生管理対策について（状況がわかる方もしくは状況が分かる方に確認して回答してください）

1. 清掃専門業者の利用について、該当するもの１つに○。　a. 利用している　b. 利用していない

⇒a.を選択した場合、その内容はどのようなものですか。該当するものすべてに○。

ア．日常的清掃　イ．定期的清掃　ウ．消毒等特別清掃

2. 客滞在期間中の客室の清掃について　*個室・ドミトリーを両方管理の場合、(1)（2）両方回答してください。

（1）　個室・1棟貸しの場合：該当するもの１つに○。

a. 基本的に滞在期間中は宿泊客の自主管理　b. 宿泊客からのリクエストに応じて

c. 定期的に実施（頻度：ア．毎日　イ.2～3日毎　ウ.4～6日毎　エ.1週間毎　オ.月に4回未満）

d. 不定期に実施

e. その他（　　）

（2.）ドミトリーの場合：該当するもの１つに○。

a. 基本的に滞在期間中は宿泊客の自主管理　b. 宿泊客からのリクエストに応じて

c. 定期的に実施（頻度：ア．毎日　イ.2～3日毎　ウ.4～6日毎　エ.1週間毎　オ.月に4回未満）

d. 不定期に実施

e. その他（　　）

3. 客室の換気（窓の開放）の頻度について、該当するもの１つに○。

a. 清掃時に必ず換気する　b. 清掃時とは関係なく定期的に換気する

c. 清掃時でも換気しないことがある　d. 換気することはない

4. 客室の害虫等防除措置の有無・頻度について、各々該当するもの１つに○。

ﾈｽﾞﾐ	a. 定期的に点検をしている b. 定期的に薬散布をしている （頻度：ア．1回/1ヶ月　イ.1回/3ヶ月　ウ.1回/半年　エ.1回/1年） c. 気づいたら/苦情が出たら薬散布をする d. していない	b.またはc.の場合 ア．自主対策 イ．専門業者による防除対策
ｺﾞｷﾌﾞﾘ	a. 定期的に点検をしている b. 定期的に薬散布をしている （頻度:ア．1回/1ヶ月　イ.1回/3ヶ月　ウ.1回/半年　エ.1回/1年） c. 気づいたら/苦情が出たら薬散布をする d. していない	b.またはc.の場合 ア．自主対策 イ．専門業者による防除対策
ダニ	a. 定期的に点検をしている b. 定期的に薬散布をしている （頻度:ア．1回/1ヶ月　イ.1回/3ヶ月　ウ.1回/半年　エ.1回/1年） c. 気づいたら/苦情が出たら薬散布をする d. していない	b.またはc.の場合 ア．自主対策 イ．専門業者による防除対策
ﾄｺｼﾞﾗﾐ	a. 定期的に点検をしている b. 定期的に薬散布をしている （頻度:ア．1回/1ヶ月　イ.1回/3ヶ月　ウ.1回/半年　エ.1回/1年） c. 気づいたら/苦情が出たら薬散布をする d. していない	b.またはc.の場合 ア．自主対策 イ.専門業者による防除対策

5. リネン（シーツ、布団・枕カバー）の交換頻度について、該当するもの１つに○。
　a. 利用者が変わらなくても定期的に交換する（概ね（　　）日ごとに交換）
　b. 利用者ごとに交換する
　c. 利用者が変わっても交換しないことがある（概ね（　　）日ごとに交換）

6. リネンの洗濯方法について該当するもの１つに○。a. 自家　b. コインランドリー利用　c. 専門業者

7. 布団・毛布の洗濯について、該当するもの１つに○。
　a. 3 カ月に１回程度洗濯　b. 6 カ月に１回程度洗濯　c. 1 年に１回程度洗濯
　d. 3 年に１回程度洗濯　e. 5 年に１回程度洗濯　f. 洗濯はしない　g. 頻度を決めていない

8. 布団・毛布の高温消毒（日光消毒含む）について、該当するもの１つに○。
　a. 1 カ月に１回程度　b. 3 カ月に１回程度　c. 6 カ月に１回程度
　d. 1 年に１回程度　e. 高温消毒はしない　f. 頻度を決めていない

9. 枕の高温消毒（日光消毒含む）について、該当するもの１つに○。
　a. 1 カ月に１回程度　b. 3 カ月に１回程度　c. 6 カ月に１回程度
　d. 1 年に１回程度　e. 高温消毒はしない　f. 頻度を決めていない

10. 客室設備 a～f のうち､あるものすべてに○｡c.~f.がある場合清掃頻度について該当するもの１つに○。
　a. 火災報知器　b. 開口部（窓）
　c. エアコン　⇒清掃頻度:　ア. 3 カ月に１回程度　イ. 6 カ月に１回程度
　　ウ. 1 年に１回程度　エ.3 年に１回程度　オ.していない
　d. 空気清浄機　⇒清掃頻度:　ア. 3 カ月に１回程度　イ. 6 カ月に１回程度
　　ウ. 1 年に１回程度　エ.3 年に１回程度　オ.していない
　e. 換気扇　⇒清掃頻度:　ア. 3 カ月に１回程度　イ. 6 カ月に１回程度
　　ウ. 1 年に１回程度　エ.3 年に１回程度　オ.していない
　f. 加湿器　⇒清掃頻度:　ア. 3 カ月に１回程度　イ. 6 カ月に１回程度
　　ウ. 1 年に１回程度　エ.3 年に１回程度　オ.していない

11. 以下（1）～（6）の室・機能の有無、利用・清掃頻度等について該当するものに○。有無について複数ある場合すべてに○。（1）～（3）が複数ある場合、広さはもっとも広い室の面積を記入。

（1）調理室（キッチン）：有無　a. なし　b. 共用あり　（広さ：　　㎡）　c. 客室／個室付属あり
　⇒b.または c.を選択した場合
　□機能：a. 客自炊用　b.ミニキッチン　c. 食事提供用　d.その他（　　）
　□利用頻度：a. 頻繁に利用あり　b. ときどき利用あり　c. たまに利用あり　d. ほとんど利用なし
　□清掃頻度：a. 1 日複数回　b. 毎日　c. 2～3 日毎　d. 4～6 日毎　e. 1 週間毎　f. 月に 4 回未満
　　g. 不定期（ⅰ.客の入れ替わり時　ⅱ.客からのリクエスト時　ⅲ.その他（　　））

（2）食堂（ダイニング）：有無　a. なし　b. 共用あり　（広さ：　　㎡）　c. 客室／個室付属あり
　⇒b.または c. を選択した場合
　□客の利用頻度:a. 頻繁に利用あり b. ときどき利用あり c. たまに利用あり d. ほとんど利用なし
　□清掃頻度：a. 1 日複数回　b. 毎日　c. 2～3 日毎　d. 4～6 日毎　e. 1 週間毎　f. 月に 4 回未満
　　g. 不定期（ⅰ.客の入れ替わり時　ⅱ.客からのリクエスト時　ⅲ.その他（　　））

(3) 居間（リビング）：有無　a. なし　b. 共用あり　（広さ：　　㎡）　c. 客室／個室付属あり

⇒b.またはc. を選択した場合

□客の利用頻度:a. 頻繁に利用あり b. ときどき利用あり c. たまに利用あり d. ほとんど利用なし

□清掃頻度：a. 1 日複数回　b. 毎日　c. 2～3 日毎　d. 4～6 日毎　e. 1 週間毎　f. 月に 4 回未満

g. 不定期（ⅰ.客の入れ替わり時　ⅱ.客からのリクエスト時　ⅲ.その他（　　））

(4) ごみ処理：該当する処理方法 1 つに○。　a. 事業系ごみとして処理　b. 家庭ごみとして処理

ごみ保管場所の有無⇒ ア. 敷地内になし　イ. 施設内にあり　ウ. 敷地内にあり

⇒イ.またはウ. を選択した場合

□清掃頻度：a. 1 日複数回　b. 毎日　c. 2～3 日毎　d. 4～6 日毎　e. 1 週間毎　f. 月に 4 回未満

g. 不定期（　　）

(5) 浴室の有無：

a. なし

b. 浴槽付共用浴室（　　）室

c. 共用シャワー（　　）室

d. 客室／個室付属の浴槽／シャワー（　　）室

⇒b.と回答：浴槽について該当するもの全てに○。

ア. 家庭用浴槽（1 組用）　イ. ユニットバス

ウ. 大浴場（複数組入浴可）で湯入れ替え型浴槽

エ. 大浴場（複数組入浴可）で循環型浴槽（24 時間風呂）

オ. その他（　　）

⇒b.～d.いずれかを選択した場合: 浴室の換気設備について、該当するものすべてに○。

ア. 換気扇　イ. 開口部（窓）　ウ. なし

⇒b.～d.いずれかを選択した場合:　浴室の清掃頻度について、該当するもの 1 つに○。

a. 1 日複数回　b. 毎日　c.2～3 日毎　d. 4～6 日毎　e. 1 週間毎　f. 月に 4 回未満

g. 不定期（ⅰ.客の入れ替わり時　ⅱ.客からのリクエスト時　ⅲ.その他（　　））

(6) 共用トイレ：有無　a.なし　b. 男女共用あり（数:　　）基　c. 男女別あり　（数:　　）基

⇒b.またはc. を選択した場合

□清掃頻度: a. 1 日複数回　b. 毎日　c.2～3 日毎　d. 4～6 日毎　e. 1 週間毎　f. 月に 4 回未満

g. 不定期（ⅰ.客の入れ替わり時　ⅱ.客からのリクエスト時　ⅲ.その他（　　））

12. 上記共有空間など**客室以外の空間**の害虫等防除：頻度と方法について該当するもの 1 つに○。

ﾈｽﾞﾐ	a. 定期的に点検をしている b. 定期的に薬散布をしている 頻度: ア. 1 回/1 ヶ月　イ.1 回/3 ヶ月　ウ. 1 回/半年　エ. 1 回/1 年 c. 気づいたら/苦情が出たら薬散布をする d. していない	b.またはc.の場合: ア. 自主対策 イ. 専門業者による防除対策
ｺﾞｷﾌﾞﾘ	a. 定期的に点検をしている b. 定期的に薬散布をしている 頻度:ア. 1 回/1 ヶ月　イ.1 回/3 ヶ月　ウ. 1 回/半年　エ. 1 回/1 年 c. 気づいたら/苦情が出たら薬散布をする d. していない	b.またはc.の場合: ア. 自主対策 イ. 専門業者による防除対策

13. 清掃・点検の記録をつけている箇所について、該当するものすべてに○。

a. 共用トイレ　b. 共用の浴室/シャワー室　c. 前者 a.b.以外の共用空間

d. 客室　e. その他（　　）　f. いずれの箇所も記録はつけていない

14. 給湯・給水設備の点検の頻度について、該当するもの１つに○。

a. 3 カ月に１回程度　b. 6 カ月に１回程度　c. 1 年に１回程度　d.3 年に１回程度

15. 衛生管理に対して不安に感じていることについて、該当するものすべてに○。

a. 客室の清掃	b. 寝具類の清掃	c. 水回り空間・設備の清掃
d. 共用空間の清掃	e. 感染症の対策	f. アレルギー・シックハウス対策
g. 害虫防除対策	h. ごみ処理方法	i. 客からの衛生状況に関する苦情
j. 客が持ち込む害虫や汚物等	k. 保健所からの指導	l. 近隣からの衛生管理に対する苦情
m. 衛生基準がよくわからないこと	n. 具体的に何をしたらよいかわからない	
o. とくに不安なことはない	p. その他（　　）	

16. 感染症対策として取り組んでいることの有無について該当するもの１つに○。　a.なし　b.あり

⇒b.を選択した場合：取り組みの内容について、該当するものすべてに○。

a. 消毒マットの利用　b. アルコール消毒・拭取　c. スタッフのマスクの着用

d. スタッフ用手指消毒剤の設置　e. ゲスト用手指消毒剤の設置　f. スタッフへの研修

g. マニュアル作成・設置　h. ポスター等によるゲストへの注意喚起　i.その他（　　）

17. 施設の衛生管理対策に対する自己評価について、該当するもの１つに○。

a. 十分できている　b. ある程度はできている　c. 不十分な部分がある　d. あまりできていない

18. 「旅館業における衛生等管理要領」の内容について、該当するもの１つに○。

a. よく知っている　b. 少しは知っている　c. あまり知らない　d. まったく知らない

Ⅳ. 客との関係

1. 交流の仕掛けについて、該当するものすべてに○。

a. とくになし　b. 共用空間の利用開放　c. 近隣のイベント情報等の提供

d. ゲストブックの設置　e. ホストからの積極的な声かけ　f. 交流イベントの施設内独自開催

g. SNS 等ネットを利用したコミュニケーション　h. 他所と連携して交流企画を実施

i. その他（　　）

2. チェックイン･アウト時以外に行うゲストとの対面コミュニケーションについて該当するもの１つに○。

a. 積極的にしている　b. なるべくしている　c.あまりしていない　d.していない

⇒a.または b.と回答した理由について、もっとも該当するもの１つに○。

ア. おもてなしの一環　イ. 顧客の声を経営に反映させたい　ウ.トラブル防止

エ. 旅の話が聞きたい　オ. 異なる文化を知りたい　カ. ゲストと仲良くなりたい

キ. 地域を紹介/PR したい　ク.その他（　　）

3. 宿泊したゲストとの SNS 等ネット上でのコミュニケーションについて、該当するもの１つに○。

a. 積極的にしている　b. なるべくしている　c. あまりしていない　d. していない

⇒a.または b.と回答した理由　⇒c.または d.と回答した理由

4. ゲスト同士のコミュニケーション促進について、該当するもの１つに○。

a. 積極的に促進している　b. なるべく促進している　c. なるべく関与しない　d. 関与しない

Ⅴ．　経営者意識について

1.　不動産について、該当するもの１つに○。

a. 以前から所有していた　b. 開業のために物件を購入した　c. 開業のために物件を借りた

d. 相続等で譲り受けた　e. 親族・知人等が所有する物件を借りた（購入した）

f. その他（　　）

2.　開業資金調達について、もっとも多いもの１つに○。

a. 自己資金（借入れなし）　b. 親族・知人からの借り入れ

c. 金融機関からの借り入れ　d. その他（　　）

3. 資金調達で苦労したことについて、もっとも該当するもの１つに○。

a. 金利の高さ　b. 事業計画の作成　c. 担保の確保

d. 手続きの煩雑さや長さ　e. 貸してくれる金融機関や人を見つけること　f. とくになし

g. その他（　　）

4. 開業に際して、行政の補助金・低金利融資等の利用の有無について、該当するもの１つに○。

a. あり（利用した制度：　　）　b. なし

5.　開業の理由について、もっとも該当するもの１つに○。

a. インバウンド増はビジネスチャンスだから　b. 空き物件を活用したいと思ったから

c. エリアの活性化になると思ったから　d. 以前から宿泊事業に関心があったから

e. 利益が見込めるビジネスをしようと思っていたから　f. 自分の経験を活かしたいと思ったから

g. 人に勧められたから　h. 外国の人と交流したいと思ったから

i. 地域の観光振興をしたいから　j. その他（　　）

6. 近隣との関係について、該当するもの１つに○。

a. とても友好的な関係である　b. ある程度友好的関係である　c. 良くも悪くもない

d. あまり友好的な関係ではない　e. 関係はよくない　f. 関係をもっていない

7.　苦労していることについて、苦労度の高い順に３つ、記号を記入。

①	②	③

a. 集客　b. 予約管理　c. スタッフ確保　d. 売り上げ・利益アップ　e. 経費削減

f. 顧客ニーズの把握　g. 顧客からの苦情対応　h. 顧客との対面ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ（言語・文化面）

i. 近隣からの苦情対応　j. 近隣との関係の構築・改善　k. 運転資金の確保　l. 借入金の返済

m. 仲介業者との交渉　n. 旅館業に関わる法令遵守　o. 施設等改築・修繕費用の確保・捻出

p. 施設・設備のメンテナンスに要する手間　q. 施設・設備の衛生管理

r. 防災対策　s. 防犯対策　t. SNS 等ネット情報の発信やアップデート

u. その他（　　）

8. 過去３年の事業状況評価／経営状況について該当するもの１つに○。(3 年未満の場合経営開始から現在まで)

a. 好調　b. おおむね好調　c. やや不調　d. 不調　e. どちらともいえない

9. 経営を継続するうえで必要とするサポートについて、必要度が高い順に３つ記号を記入。

①	②	③

a. 周辺観光関連施設等との連携のサポート・促進
b. 同業者間の連携のサポート・支援
c. 新規参入規制強化
d. 違法民泊の取り締まり強化
e. 仲介業者に対する規制・適正運用指導
f. 事業開始・運転資金等の金融的支援
g. 規制緩和（緩和領域：　　）
h. 固定資産税・事業税等税金の減免
i. 経営相談
j. 行政による観光プロモーション
k. 他言語化対応など言語面でのサポート
l. 防犯対策に関するガイドライン・サポート
m. 防災対策に関するガイドライン・サポート
n. 衛生管理に関するガイドライン・サポート
o. 周辺地域の理解を得るためのサポート
p. その他（　　）

10. 民泊新法（住宅宿泊事業法）について、該当するもの１つに○。

a. 歓迎する　b. まぁ歓迎する　c. あまり歓迎しない　d.歓迎しない　c.知らない

その理由は？もっとも該当するもの１つに○。

ア. 違法状態の改善に期待する
イ. 税制等の不平等状態の改善に期待する
ウ. ビジネスチャンスが広がる
エ. 観光振興（地域活性化）に寄与する
オ. 宿泊施設不足が解消される
カ. 旅行者の宿泊先の選択肢が増える
キ. その他（　　）

その理由は？もっとも該当するもの１つに○。

ア. 違法状態の改善は期待できない
イ. 質の悪いものが増える
ウ. 競争相手が増える
エ. 対策が不十分
オ. 観光振興に悪い影響がありそう
カ. 民泊が立地する地区内での問題が増える
キ. その他（　　）

Ⅵ. 回答者の属性

1. 回答者の立場　ア. 本物件の旅館業営業許可を受けた事業者　イ. 駐在スタッフ
ウ. 委託を受けている管理事業者　エ.その他（　　）

ア.　と回答した方のみ回答

⇒過去の就業経験の有無（複数回答可）a. 正規雇用あり　b. 家業就業あり　c. 非正規雇用あり　d. なし

⇒本物件以外に宿泊施設を経営していますか（＊件数は許可申請・認定数で回答ください）。

a. 本物件のみ　b. 簡易宿泊所（　　）件　c. ホテルまたは旅館（　　）件
d. 特区民泊（　　）件　e. その他（　　）（　　）件

2. 回答者の年代　a. 10 代　b.20 代　c.30 代　d.40 代　e.50 代　f. 60 以上

3. 回答者の性別　a. 男　b.女　c.どちらでもない

4. 海外キャリアの有無（複数回答可）

a. 半年以上の海外放浪・旅行　b. 1 ヶ月以上の海外勤務経験　c.　外資系企業勤務経験
d. 半年以上の海外滞在　e. 1 年以上の海外留学　f. なし
g. その他（　　）

ご協力ありがとうございました。ご意見等、ご自由にお書きください。